

ネット時代におけるデマやフェイクニュース

～正しい情報と誤解していませんか～

どのようなメディアでも間違った情報が流布されることは、あり得ます。特にインターネット上のニュースの場合、発信元が確かでない記事が多く、誰もが容易に情報発信できることから、正しくない情報もたくさんあります。なかには、騒ぎを起こすことが目的で発信されたデマもあります。目にした情報をうのみにせず、正確性が判断できない場合には、安易に情報を投稿・拡散しないことが大切です。

1 自分が拡散させた情報が、事実でなかった場合



SNSで自分が拡散させた情報が事実でないことが判明し、被害にあった方の名誉や社会的信用が傷つけられて、金銭的被害が出た場合、被害者の方が損害賠償を提訴してくる場合があります。情報の発信元だけでなく、近年はリツイートした人の責任も問われるようになってきています。

2 再投稿・拡散する前に気を付けよう

(1) 他の情報と比べてみる

＝ネット検索し、複数の情報を読み比べましょう。新聞や本などネット以外で調べるのもおすすめです。

(2) 情報の発信元を確かめる＝発信元が明らかであっても信頼できる情報元かを確認しましょう。

(3) その情報はいつ頃書かれたものか確かめる。＝古い情報だった場合、現在とは情報が異なるので注意しましょう。

(4) 1次情報を確かめる＝その情報が引用や伝聞の場合、オリジナルの情報源を確かめましょう。

※参考＝総務省「インターネットトラブル事例集2020」より

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通)

メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

子どもの安全安心に関する情報を
ツイッターで発信しています →

